



2011年3月期 決算説明会

決算総括および中期経営計画

シスメックス株式会社

代表取締役社長 家次 恒

2011年5月11日

本日の内容

Chapter 1	2011年3月期 決算総括
Chapter 2	前中期経営計画の振り返り(2009年5月公表)
Chapter 3	中期経営計画(2012年3月期～2014年3月期)
Chapter 4	2012年3月期 業績予想

補足資料	中期経営目標
------	--------

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

Chapter 1

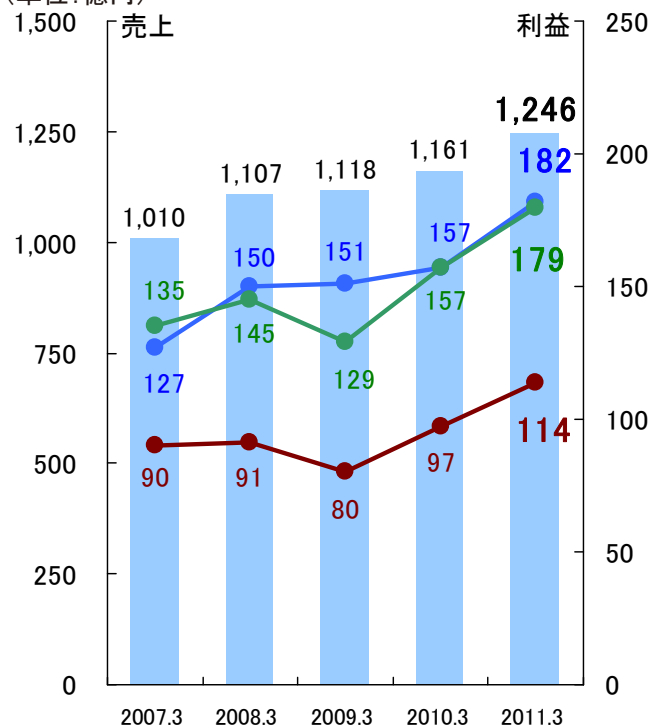
2011年3月期 決算総括

決算総括

— 大幅な円高の中、売上・利益ともに過去最高を達成 —



(単位: 億円)



(単位: 億円)

	2011年3月期		2011年3月期		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	公表※	構成比	実績	構成比	
売上高	1246.9	100%	1230	100%	1161.7	100%	107.3%
売上原価	463.8	37.2%	—	—	424.8	36.6%	109.2%
販売費及び一般管理費	600.1	48.1%	—	—	579.8	49.9%	103.5%
営業利益	182.8	14.7%	175	14.2%	157.0	13.5%	116.4%
経常利益	179.7	14.4%	168	13.7%	157.7	13.6%	114.0%
当期純利益	114.1	9.2%	108	8.8%	97.6	8.4%	116.9%

※公表数値は2010年11月修正

- 売上高: 大幅な円高の影響を受けた欧州を除き、各所在地で増収
現地通貨ベースでは海外全所在地で二桁成長
- 営業利益: 米州、日本等の増収効果による粗利益の増加により増益
- 営業外損益: △3.0億円 ※為替差損 8.8億円 (前年同期 2.5億円)
- 円高の影響 売上 △79.4億円 営業利益 △38.9億円

※前年同期為替レート適用の場合:

前年同期比 売上高 114.2%、営業利益 141.2%

設備投資 58.3 億円 減価償却費 68.7 億円
研究開発費 123.8 億円

	2011年3月期	前年同期
1 USD	85.7円	92.9円
1 EUR	113.1円	131.2円

Copyright by Sysmex Corporation

Sysmex Corporation

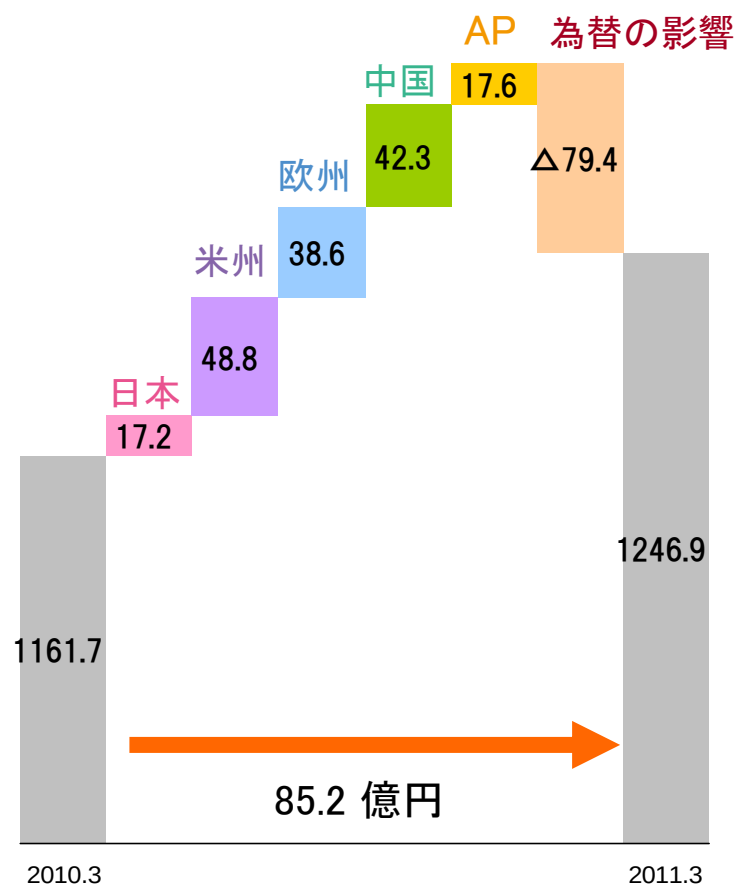
売上高・営業利益の増減要因



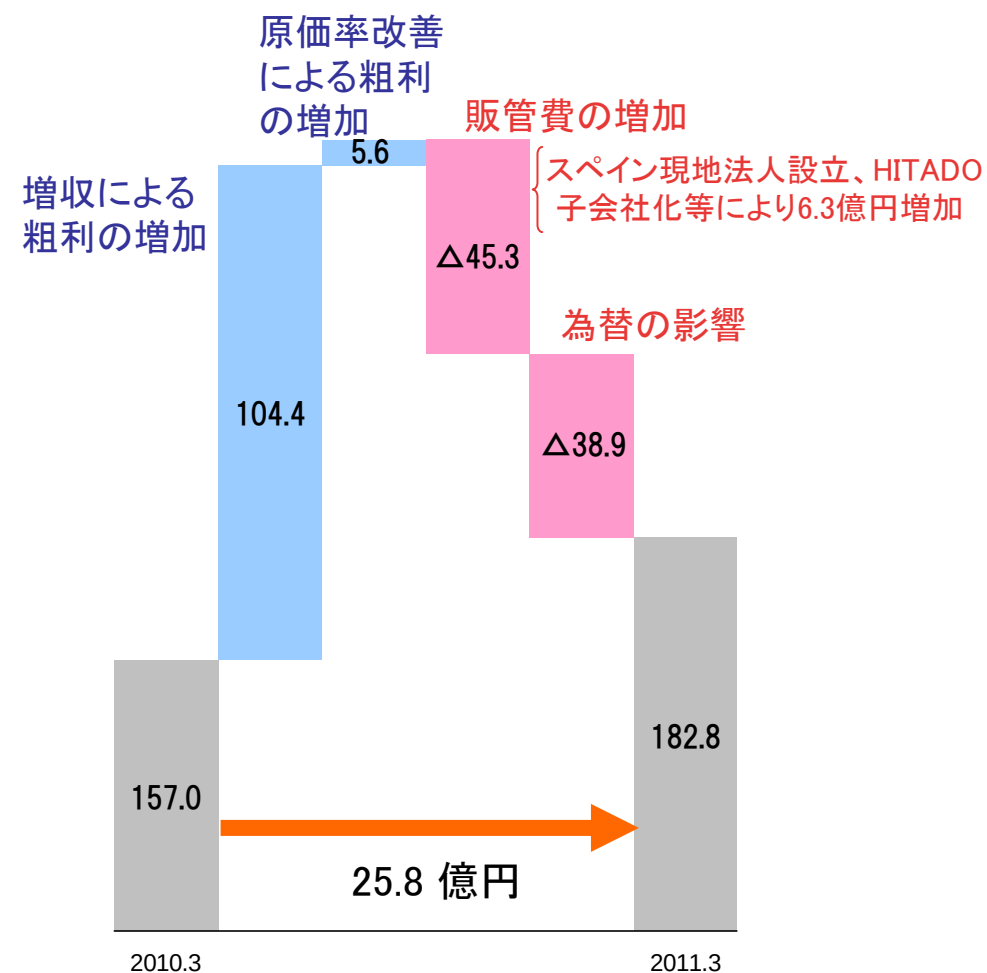
(単位: 億円)

売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く



営業利益

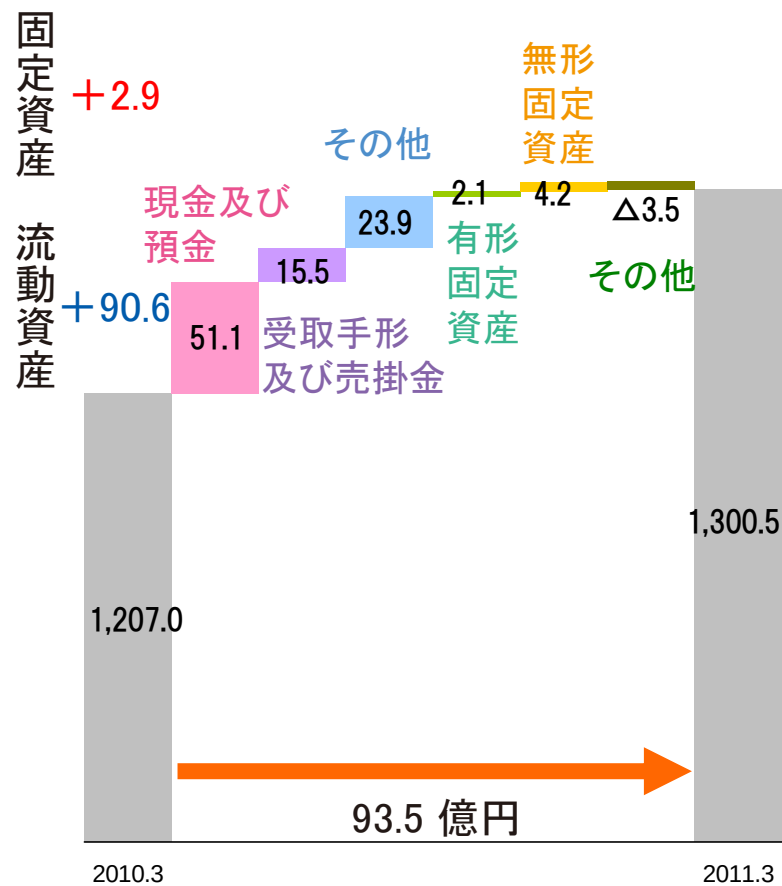


貸借対照表の増減要因

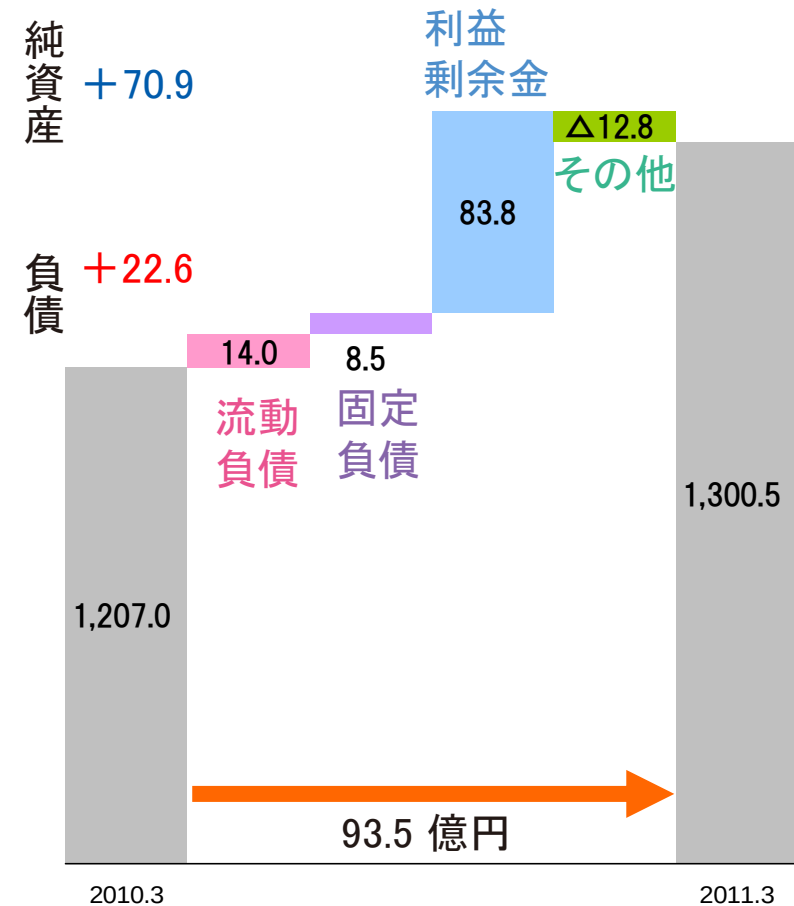


(単位: 億円)

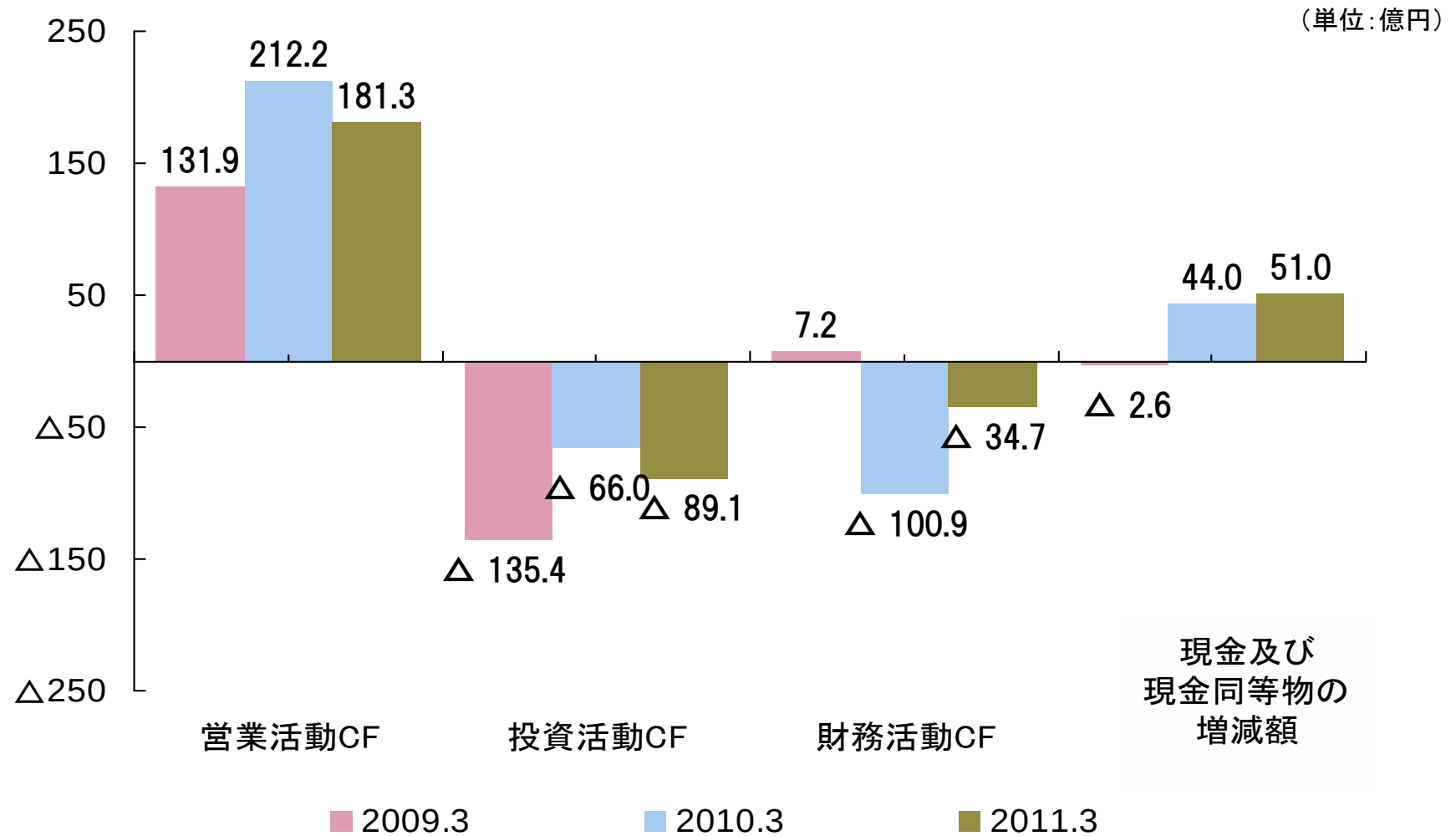
資産の部



負債・純資産の部



キャッシュフローの推移



※現金及び現金同等物の増減額には、現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。

トピックス①

- 東日本大震災の発生
 - ▶ 製品供給、サービス体制にほぼ影響はなし
- 中国およびアジア諸国向けに生化学分野の製品ラインアップを拡充
 - ▶ 日本電子および古野電気と生化学自動分析装置の販売契約締結
- 世界初の「全自動尿統合分析装置」をアークレイと共同開発し、グローバルに販売開始
 - ▶ 尿定性検査と尿沈渣検査を1台で測定可能
- ペット動物用検査分野最大手アイデックスと共同事業開始
 - ▶ 動物用自動血球分析装置のOEM供給により世界の動物病院市場へ展開
- 大腸がんリンパ節転移検査を世界で初めて自動化
 - ▶ 乳がんに加えて大腸がんへ適用拡大することに成功し、厚生労働省より製造販売承認を取得



全自動尿統合分析装置 UX-2000

トピックス②



- 急成長する中国市場の需要増に対応するため、中国済南の試薬工場増改築を開始
 - ▶ 2012年5月の生産稼動を目指し、試薬の安定供給体制を整備
- フィリピンに現地法人を設立し、メロマニラでの直接販売・サービスを整備(2011年4月より開始)
 - ▶ ASEAN主要6カ国全てに現地法人の設置を完了
- ノンヘマトロジー分野における診断薬開発を強化
 - ▶ Hyphen BioMed(フランス)を買収し、海外における診断薬開発を強化
- カイコを用いた遺伝子組換え技術による原材料の安定供給を推進
 - ▶ 片倉工業の生物科学研究所の譲受により、ノンヘマトロジー分野およびライフサイエンス領域での診断薬製品の安定供給およびコスト削減を推進



調印式(片倉工業)

所在地別売上高



● 所在地別売上高 (外部売上)

(単位: 億円)

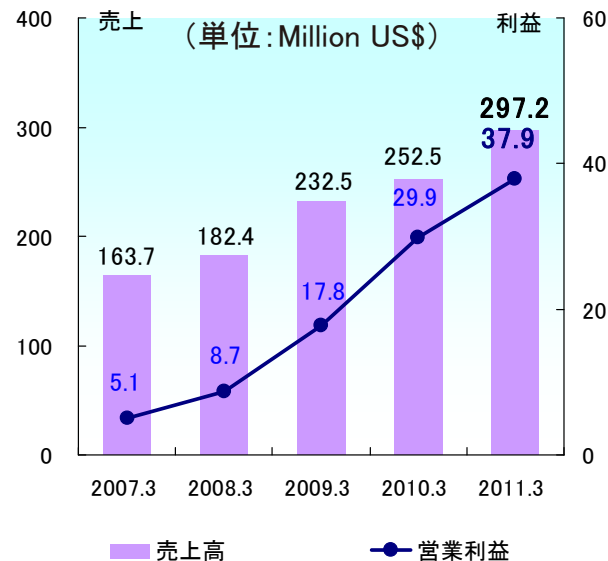
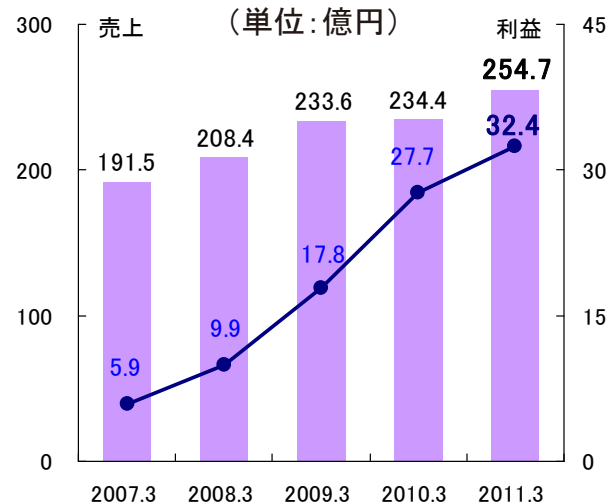
			2011年3月期		前年同期		前年同期比	
				構成比		構成比	(円)	(現地通貨)
売上高			1,246.9	100.0%	1,161.7	100.0%	107.3%	—
所在地別	米州		254.7	20.4%	234.4	20.2%	108.7%	117.7%
	欧州		352.9	28.3%	364.4	31.4%	96.8%	112.3%
	中国		150.9	12.1%	118.4	10.2%	127.4%	135.7%
	AP		71.0	5.7%	58.4	5.0%	121.6%	123.0%
	日本※		417.1	33.5%	385.9	33.2%	108.1%	—

※韓国、台湾、アイデックス等含む

● 為替レート

	2011年3月期	前年同期
1 USD	85.7円	92.9円
1 EUR	113.1円	131.2円
1 CNY	12.8円	13.6円
1 SGD	64.3円	65.1円

米州における取り組み（所在地別）



Copyright by Sysmex Corporation

(単位: 億円)

	2011年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	254.7	234.4	108.7%
営業利益	32.4	27.7	117.0%

※現地通貨ベース 前年同期比 売上高 117.7%、営業利益 126.8%

● 北米・中南米ともにヘマトロジー分野を中心に売上が増加

- ▶ 米国: IHN※1、VISN※2、大手検査センター への販売により、機器・試薬売上ともに拡大
- ▶ カナダ: 大型案件の獲得等によりヘマトロジー分野が好調
- ▶ 中南米: 景気回復に伴う需要増、大型案件の獲得等により伸長

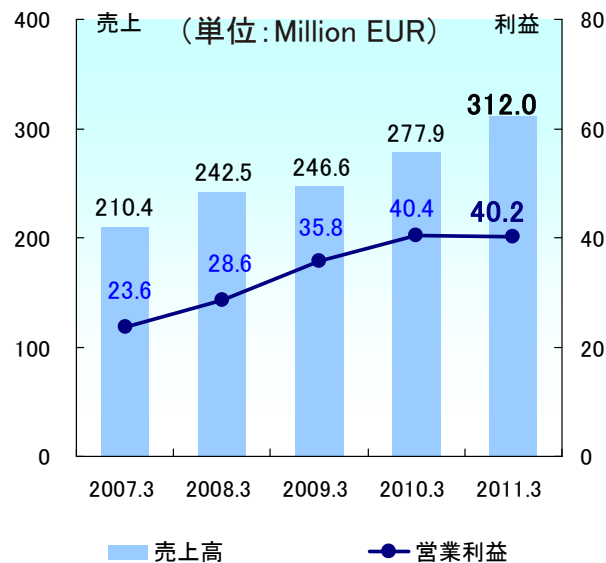
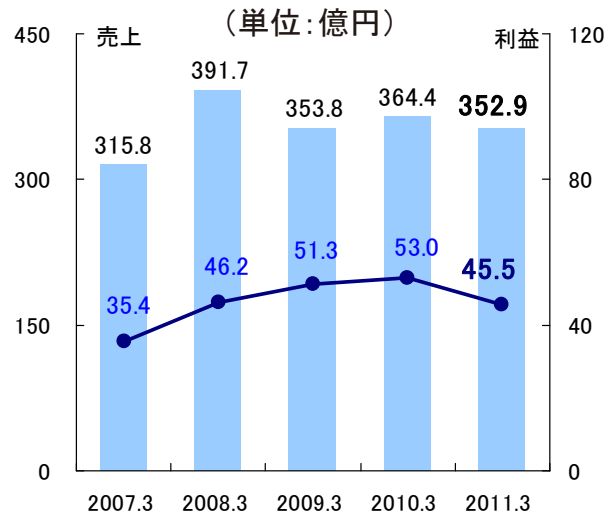
● 機器・試薬の増収効果により販管費の増加を補い、営業利益が大幅に増加

※1: IHN (統合ヘルスケアネットワーク)

※2: VISN (米国退役軍人統合サービスネットワーク)

Sysmex Corporation

欧州における取り組み（所在地別）



（単位：億円）

	2011年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	352.9	364.4	96.8%
営業利益	45.5	53.0	85.8%

※現地通貨ベース 前年同期比 売上高 112.3%、営業利益 99.5%

- 主要5カ国を中心にヘマトロジー分野が牽引し、現地通貨ベースでは二桁増収

- ▶ イギリス・フランス： ソリューション提案により販売台数が増加し、試薬売上が継続的に増加
- ▶ スペイン： システム製品の売上拡大
- ▶ 東欧・ロシア、中東： 3分類を中心に販売が拡大

- ライフサイエンス：スペインを中心に機器導入を促進

- 販売体制の整備に伴う現地法人の設立やのれん償却等により販管費が増加し、営業利益は減少

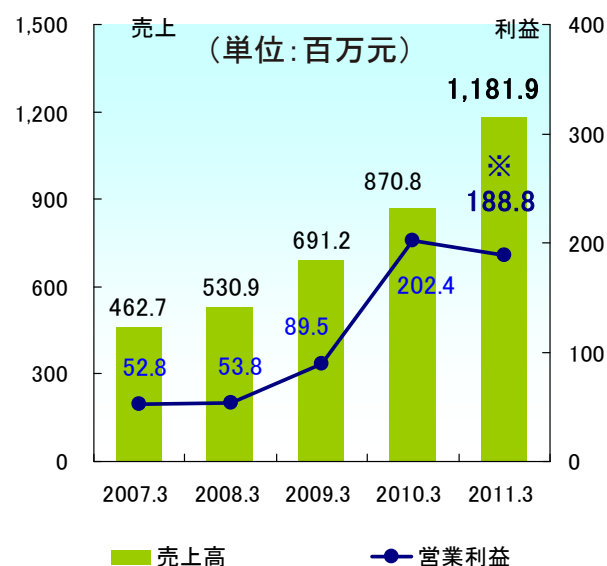
中国における取り組み（所在地別）



（単位：億円）

	2011年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	150.9	118.4	127.4%
営業利益	24.1	27.5	87.6%

※現地通貨ベース 前年同期比 売上高 135.7%、営業利益 93.3%



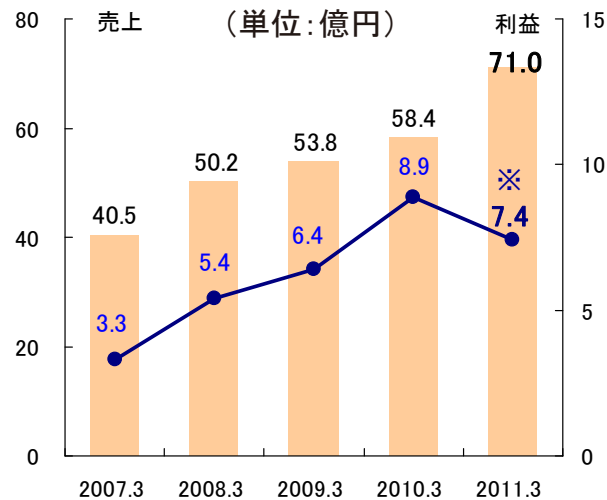
※グループ間取引価格およびロイヤリティの変更

● 医療需要の拡大、アップグレード化により、ヘマトロジー、尿、血液凝固分野において、継続して売上が増加

- ▶ ヘマトロジー分野： アップグレード化(3分類→5分類)と検査需要の増加により試薬売上も増加
- ▶ 尿分野： 機器更新やシステム化による検査の効率化提案により売上増加
- ▶ 血液凝固分野： 凝固系に加え線溶系検査項目の需要拡大に伴い機器・試薬ともに売上増加

● グループ間取引価格およびロイヤリティの変更等により、営業利益が減少

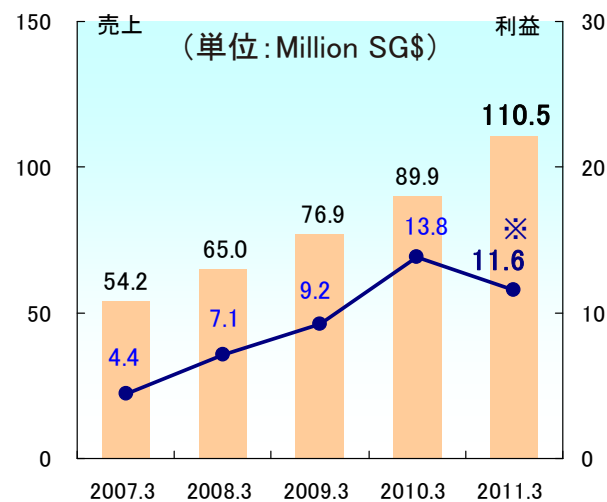
APにおける取り組み（所在地別）



(単位: 億円)

	2011年3月期	前年同期	前年同期比
売上高	71.0	58.4	121.6%
営業利益	7.4	8.9	83.0%

※現地通貨ベース 前年同期比 売上高 123.0%、営業利益 83.9%



売上高 営業利益

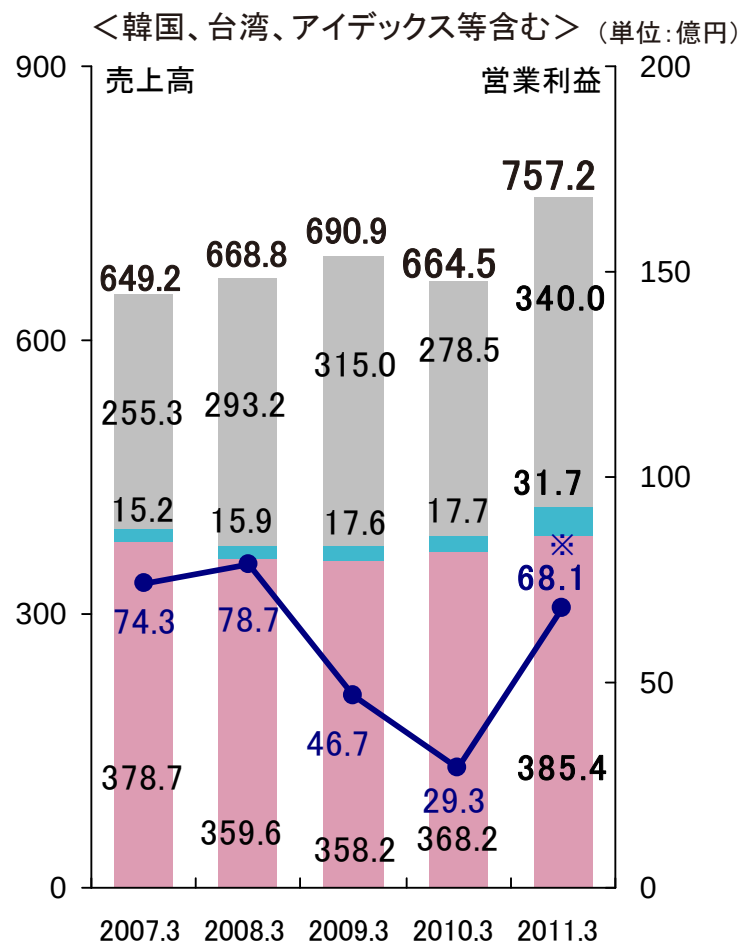
※グループ間取引価格およびロイヤリティの変更

- 新興国を中心とした経済成長に伴う需要拡大により、ヘマトロジー分野を中心に売上増加

- ▶ インド・インドネシア: アップグレード化(3分類→5分類)によるヘマトロジー 分野の売上増加
- ▶ マレーシア: 大手検査センターの大型入札案件獲得

- グループ間取引価格およびロイヤリティの変更等により、営業利益は減少

日本における取り組み（所在地別）



■ 内部売上高：関係会社への輸出
■ 外部売上高：韓国・台湾・アイデックス等
■ 外部売上高：日本
● 営業利益

※グループ間取引価格およびロイヤリティの変更

Copyright by Sysmex Corporation

	2011年3月期	前年同期	(単位：億円) 前年同期比
売上高	757.2	664.5	114.0%
外部	417.1	385.9	108.1%
日本	385.4	368.2	104.7%
韓国・台湾・アイデックス等	31.7	17.7	179.2%
内部	340.0	278.5	122.1%
営業利益	68.1	29.3	232.5%

● 日本

- ▶ 診療報酬改定により投資需要が回復
- ▶ ソリューション提案により、大型案件を獲得
- ▶ 免疫分野では試薬項目数の増加により売上増加
- ▶ インフルエンザ簡易検査キットの売上は減少

● 韓国・台湾・アイデックス等

- ▶ 韓国・台湾：ヘマトロジーシステム、尿分野が継続伸長
- ▶ アイデックス：動物用血球分析装置の販売が本格化

● 売上増加に加え、日本国内の原価率改善、グループ間取引価格およびロイヤリティの変更により増益

Sysmex Corporation

予想配当額



- 9期連続の増配を予定

※年初予想(期末 28円)に対し 4円の増配

	中間	期末	年間	配当性向
2011年3月期 (予想)	28 円	32 円	60 円	27.0 %
2010年3月期	25 円	31 円	56 円	29.4 %

Chapter 2

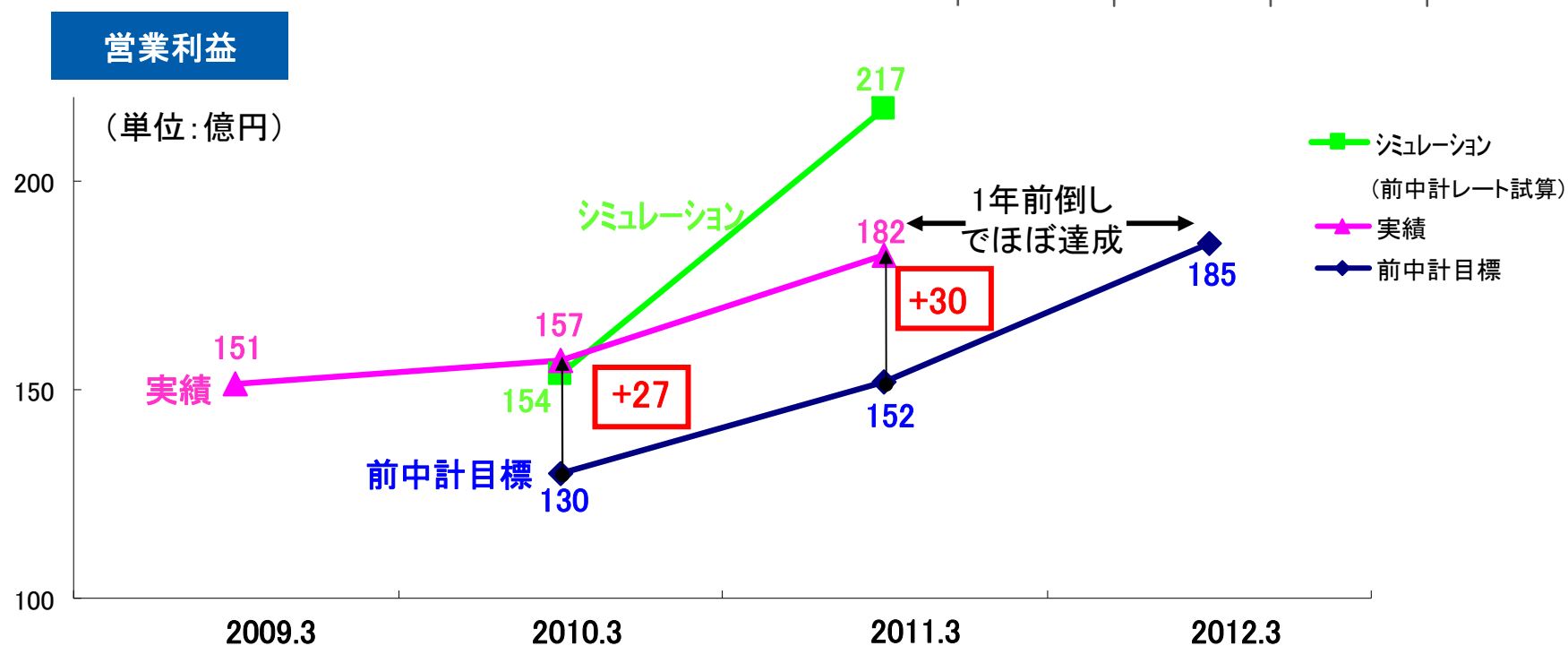
前中期経営計画の振り返り(2009年5月公表)

前中計の振り返り(2009年5月公表)

- 大幅な円高にも関わらず、営業利益(2011.3)は、一年前倒しでほぼ目標を達成
- 増収効果に加えて、原価率の改善および販管費の削減により企業体質の強化を図り、収益性の向上を実現

■前中計目標 vs. 実績 & シミュレーション

	2009.3	2010.3	2011.3	前中計レート
1 USD	100.5円	92.9円	85.7円	95円
1 EUR	143.5円	131.2円	113.1円	125円



前中計の振り返り(2009年5月公表)



1. ヘマトロジー分野における成長の持続

● 先進国でのさらなる成長

- ▶ 米国: 大手検査センター、IHN※1、VISN※2攻略が進展
- ▶ 欧州: 直販体制を活用したソリューション提案販売が拡大

※1: IHN (統合ヘルスケアネットワーク)

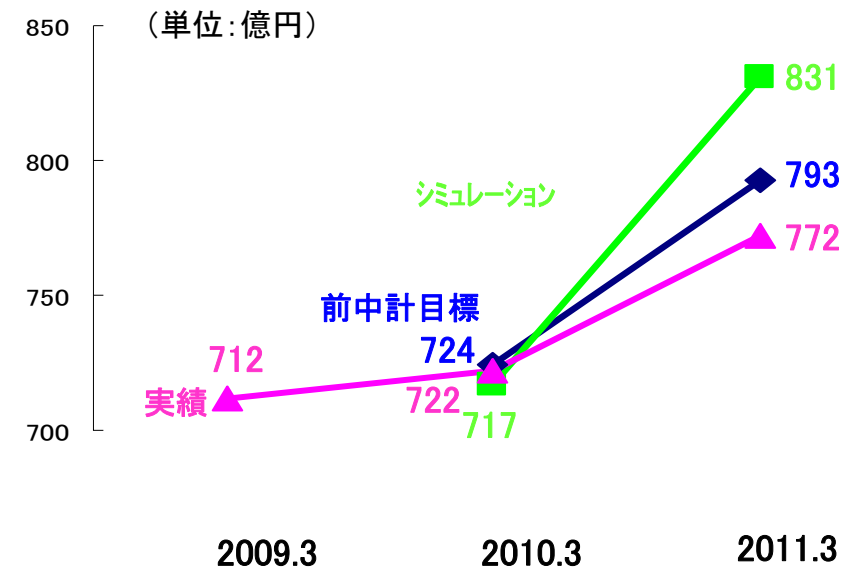
※2: VISN (米国退役軍人統合サービスネットワーク)

● 医療インフラ整備に伴い新興国で売上増加

- ▶ 中国: 市場拡大に伴う販売台数の増加
アップグレード化(3分類→5分類)により試薬売上が大幅増加
- ▶ AP : 市場が拡大する東南アジア、南アジアでの売上増加
上位市場では高機能・システム製品の導入が進展

■ 前中計目標 vs. 実績 & シミュレーション

ヘマトロジー分野売上



前中計の振り返り(2009年5月公表)



2. ノンヘマトロジー分野における成長の加速

● 日本を含むアジアでの総合サプライヤーとしての活動強化

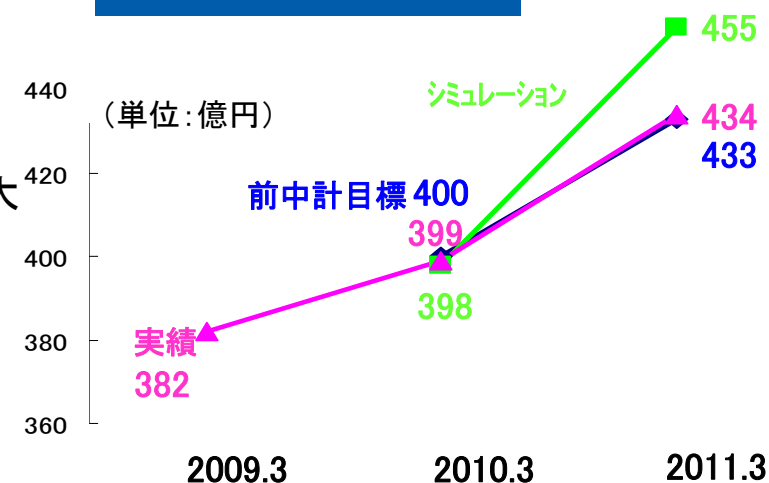
- ▶ 免疫: 試薬項目拡大による売上増加(日本)
さらなる項目拡大に向けたスピード強化を推進
- ▶ 生化学: アライアンスを活用した品揃えの充実
(日本電子、古野電気)

● 血液凝固・尿検査分野でのグローバル展開

- ▶ 凝固: アジアを中心に線溶系検査項目の需要拡大
に伴う試薬売上の増加
- ▶ 尿: 学術啓発活動等による事業活動の強化

■ 前中計目標 vs. 実績 & シミュレーション

ノンヘマトロジー分野売上



3. ライフサイエンスの事業化の推進

● リンパ節転移迅速検査システムの市場導入推進

- ▶ OSNA(乳がん)の市場導入(日本50台、海外100台突破)
- ▶ OSNA(大腸がん)の製造販売承認を取得(日本)
- ▶ OSNA以外のポートフォリオ充実の遅れ

前中計の振り返り(2009年5月公表)



4. 研究開発の強化

● 商品開発のスピードアップ

- ▶ 中国に診断薬開発拠点(無錫)を開設し、診断薬開発を推進
- ▶ 研究から商品開発へのプロダクトフローの改善
- ▶ ヘマトロジーフラッグシップモデル「XNシリーズ」の開発完了



動物用自動血球分析装置
(アイデックス社販売名称 ProCyte Dx)

● コラボレーションの強化

- ▶ 動物用自動血球分析装置のグローバル展開(アイデックス)
- ▶ 血中循環がん細胞の高感度検出技術の確立(オンコリスバイオファーマ)
- ▶ 世界初となる尿定性、尿沈渣の統合システムを発売(アークレイ)
- ▶ ノンヘマトロジー分野における診断薬開発の強化(Hyphen BioMed買収)

5. 企業体質の強化

● グループ経営管理の強化

- ▶ ERPの再構築に伴う、グローバルな経営情報の充実と迅速化
- ▶ 事業および規模の拡大に対応したリスクマネジメントの体制整備
- ▶ コストダウン推進等による収益力の向上

Chapter 3

中期経営計画(2012年3月期～2014年3月期)

経済

新興国の急成長

- ▶ 膨大な人口(および増加率)と豊富な天然資源に支えられた経済成長
- ▶ 経済成長に伴う社会インフラの整備
- ▶ 生活水準の向上に伴う巨大な購買層の形成

先進国の成長鈍化

- ▶ 財政不安の増大と内需の縮小
- ▶ 新興国市場への投資の拡大

社会

社会不安の増大

- ▶ 中東・北アフリカにおける反政府運動の激化
 - ▶ SNS等による近隣諸国への伝播
- ▶ 東北地方太平洋沖地震、津波、原発事故による被害の拡大

技術革新

- ▶ 情報通信技術の高速化、低コスト化
- ▶ 環境に配慮した省エネ、クリーンエネルギーの開発、利用の促進

膨大な人口、豊富な天然資源を背景に、新興国の影響力が引き続き増大

ヘルスケア市場の成長

- ▶ 新興国ヘルスケア市場の急速な成長: 医療インフラの拡充、人口増加、生活水準の向上等
- ▶ 先進国ヘルスケア市場の安定的成長: 高齢化の進行、がん・生活習慣病の増加、新たな技術活用等

IVD※市場の成長

- ▶ 新興国の経済成長に伴う検査需要の拡大
- ▶ 予防、リスク診断、感受性検査による治療効果予測等ニーズの多様化
- ▶ 遺伝子・分子診断技術の進展による新たな検査市場の創出

※ IVD (In Vitro Diagnostics): 検体検査

競争環境の変化

- ▶ 異業種企業のIVD分野への参入
- 自社技術、M&Aやアライアンスの活用
- ▶ 新興国企業の急速なキャッチアップ
- ▶ IVD Top10企業を含む業界再編
(Danaher によるBeckman Coulterの買収等)

ヘルスケアおよびIVD市場は、今後も持続的な成長が見込める魅力的な市場

長期ビジョン

「A Unique & Global Healthcare Testing Company」

長期経営目標

■ポジショニング

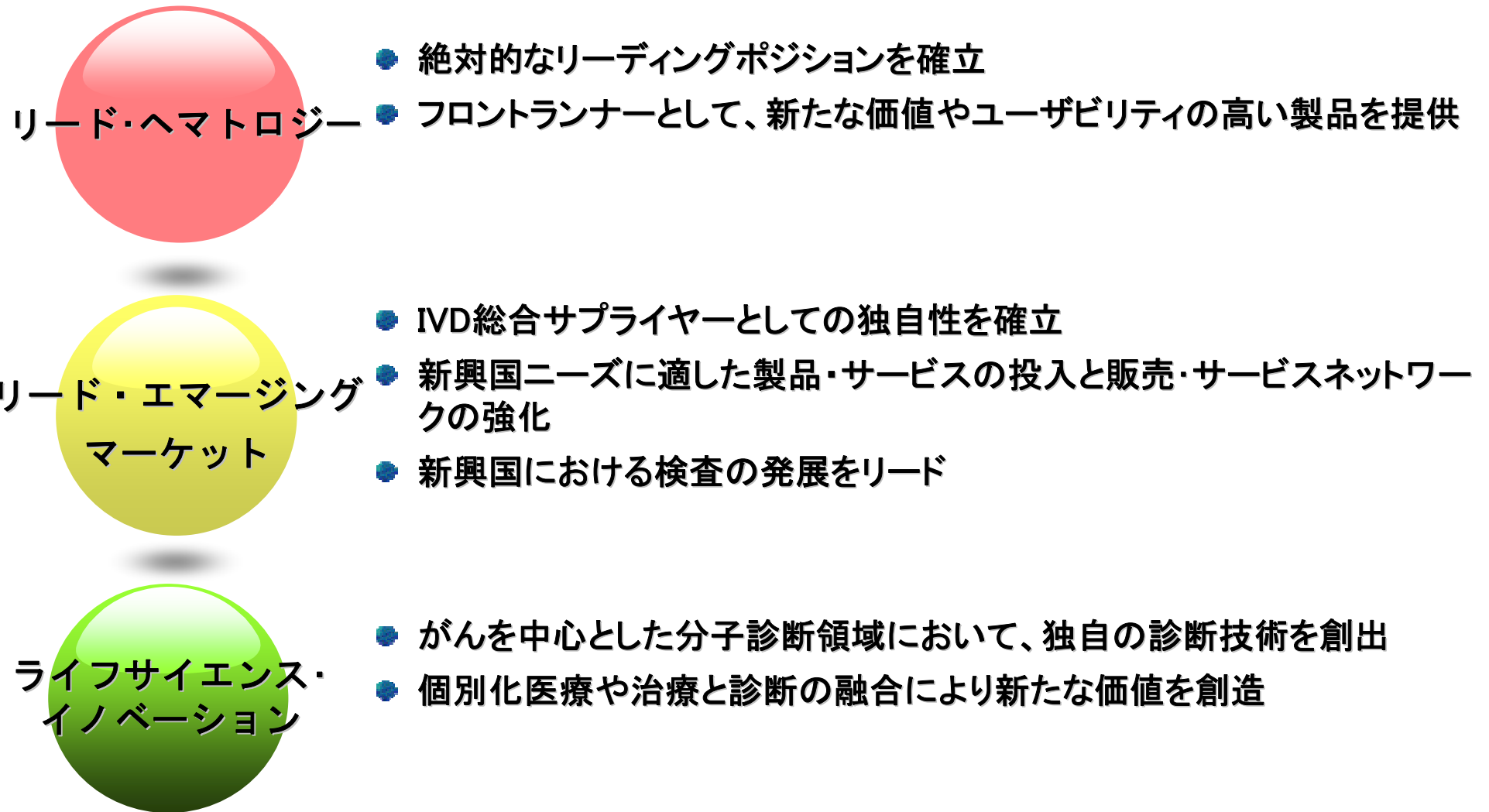
- ヘマトロジーにおける絶対的なグローバルNo.1
- アジアIVD市場におけるリーディングカンパニー
- 分子診断領域(セラノスティクス※)におけるリーディングカンパニー

※セラノスティクス: 治療 (Therapy) と診断 (Diagnostics) の合成語で、個別化医療を実現するための臨床的価値の高い検査

■経営数値目標

- ・売上高: 5,000億円以上

基本戦略



中期・長期経営目標



■現状(2011年3月期)

- ・売上高: 1,246億円
- ・営業利益: 182億円
- ・営業利益率: 14.7%
- ・ROE: 12.7%
- ・FCF: 92億円

(為替レート: 1USD=¥85.7、1EUR=¥113.1)

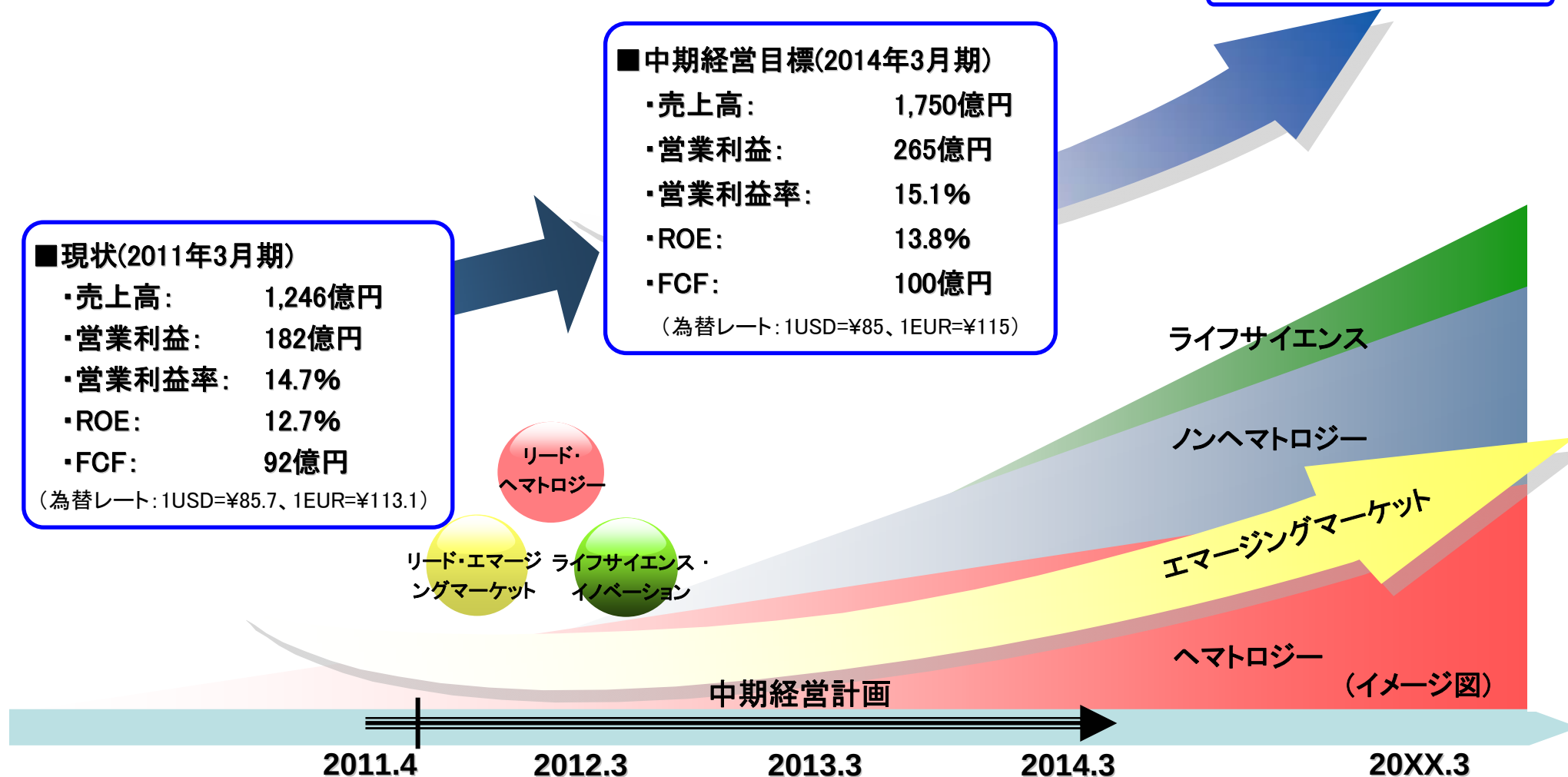
■中期経営目標(2014年3月期)

- ・売上高: 1,750億円
- ・営業利益: 265億円
- ・営業利益率: 15.1%
- ・ROE: 13.8%
- ・FCF: 100億円

(為替レート: 1USD=¥85、1EUR=¥115)

■長期経営目標

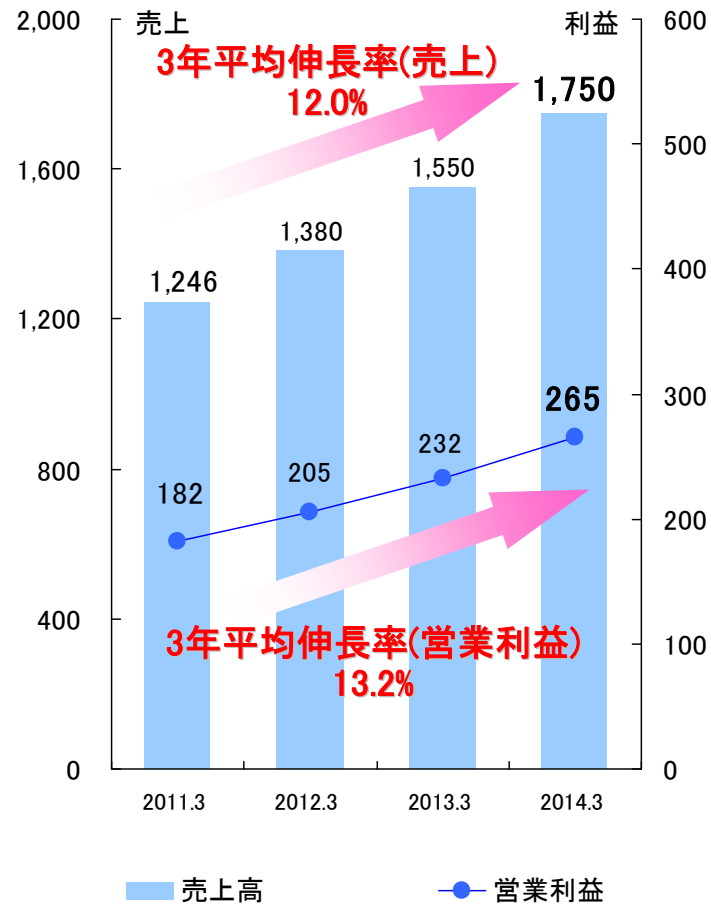
- ・売上高: 5,000億円以上



中期経営目標へのアプローチ



(単位: 億円)

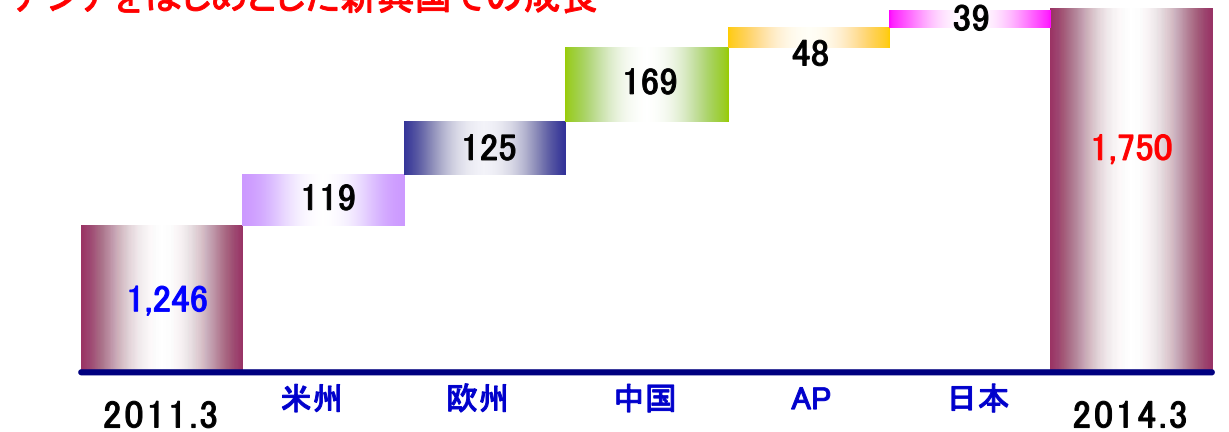


Copyright by Sysmex Corporation

■地域別

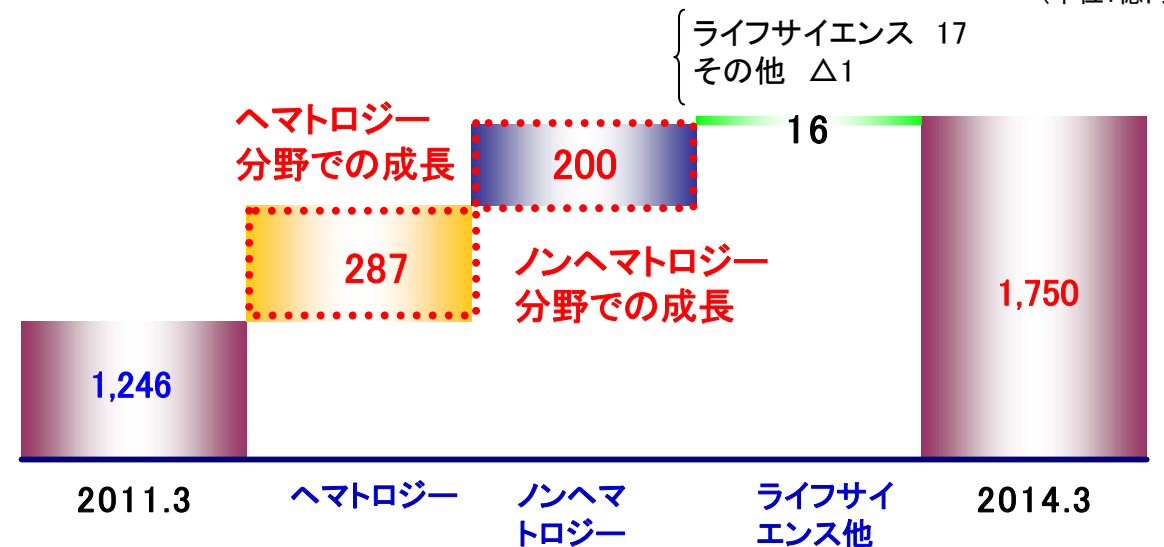
アジアをはじめとした新興国での成長

(単位: 億円)



■分野別

(単位: 億円)



Sysmex Corporation

中期経営計画 重点課題と取り組み(1)－①



1. アジアをはじめとした新興国での成長の加速

コア事業での成長

● ヘマトロジー分野における安定的な高成長

- ▶ 上位市場へのシステム製品導入やXNシリーズのグローバル展開
- ▶ 新興国ニーズに適合した「XS-500i」(5分類)の発売
- ▶ 販売台数増加による試薬の売上拡大

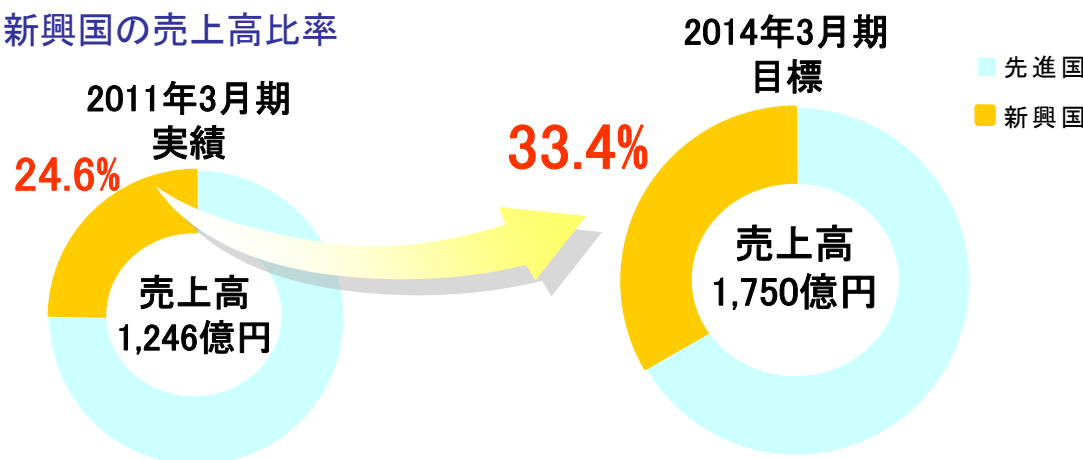


多項目自動血球分析装置XNシリーズ

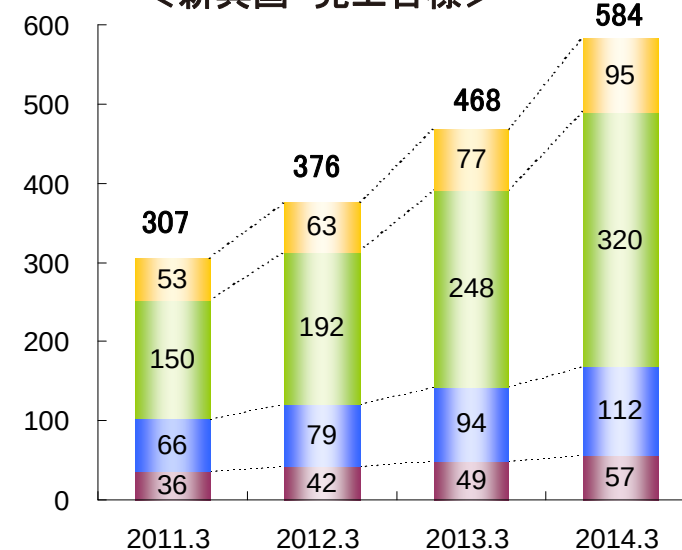
● 凝固分野、尿分野における高成長の持続

- ▶ 凝固分野での新製品導入による他社攻略
- ▶ 学術サポート体制の強化による凝固試薬売上の拡大
- ▶ 尿定性、尿沈渣の統合システムによる検査効率化の推進

■ 新興国の売上高比率



<新興国*売上目標> (単位：億円)



■ 中南米 ■ EMEA ■ 中国 ■ アジア

※新興国：中国、東南アジア、南アジア、中南米、EMEA(東欧・ロシア、中東、アフリカ)

1. アジアをはじめとした新興国での成長の加速

総合サプライヤーとしての取り組み

● アジアにおける生化学・免疫分野での基盤強化

- ▶ 日本電子、古野電気等とのアライアンスを活用した生化学分析装置の導入促進
- ▶ 新興国ニーズに適合した生化学試薬の項目拡充
- ▶ 販売ネットワーク・顧客基盤等の強みを活かした免疫分野への早期参入



生化学自動分析装置JCA-BM6010/C
(日本電子)

● 新興国に適合した新たなビジネスモデルの創出

- ▶ 機器、試薬、ソフトウェア、サービスなどを組み合わせた総合提案
- ▶ CPT※、ファイナンス等を活用した新たなスキーム提案

※CPT(Cost Per Test): コスト・パー・テスト

中期経営計画 重点課題と取り組み(1)－③



1. アジアをはじめとした新興国での成長の加速

医療インフラの整備に伴う成長機会の確実な獲得

● 生産体制の強化

- ▶ 試薬需要増大に伴う小野工場、済南工場、シンガポール工場などの拡張
- ▶ 機器需要増大に伴う生産能力の増強（機器生産新工場の検討）

● 現地サプライチェーンの再整備

- ▶ 規模の拡大に対応した地域統括拠点のSCM体制強化
- ▶ ノンヘマトロジービジネスの拡大に対応した代理店体制の整備

● 販売・サービスネットワークの充実

- ▶ 上位市場におけるソリューション提案等、顧客への直接提案の強化
- ▶ フィリピン販売拠点による一部直販の開始
- ▶ 台湾代理店へのサポート強化
- ▶ ロシア現地法人設立による販売・サービスの強化



中国・済南工場(拡張イメージ図)

2. ヘマトロジーにおける絶対的なNo.1ポジションの確立と収益力の向上

● フラッグシップモデルXNシリーズのグローバル展開

- ▶ 多様なニーズに対応できるモジュラーコンセプトの採用
- ▶ 濃縮試薬による交換頻度の低減
- ▶ 新試薬パッケージ(紙パック)や試薬カートリッジ化、RF-ID(無線タグ)による試薬管理機能の充実
- ▶ SNCS※によるリアルタイムモニタリングとデータ解析による予防保守を実現し、ダウンタイムおよびサービスコストの低減
- ▶ 体液測定や低値血小板測定によるクリニカルバリューの向上



多項目自動血球分析装置XN-9000 (システム製品)



※SNCS: Sysmex Network Communication Systems



新試薬パッケージ(紙パック)



試薬カートリッジ化



RF-ID(無線タグ)による試薬管理

2. ヘマトロジーにおける絶対的なNo.1ポジションの確立と収益力の向上

● 新興国ニーズに適合した「XS-500i」(5分類)による市場拡大

- ▶ 新興国を中心に急拡大するボリュームゾーンへの展開
- ▶ アップグレード化(3分類→5分類)による試薬売上の拡大



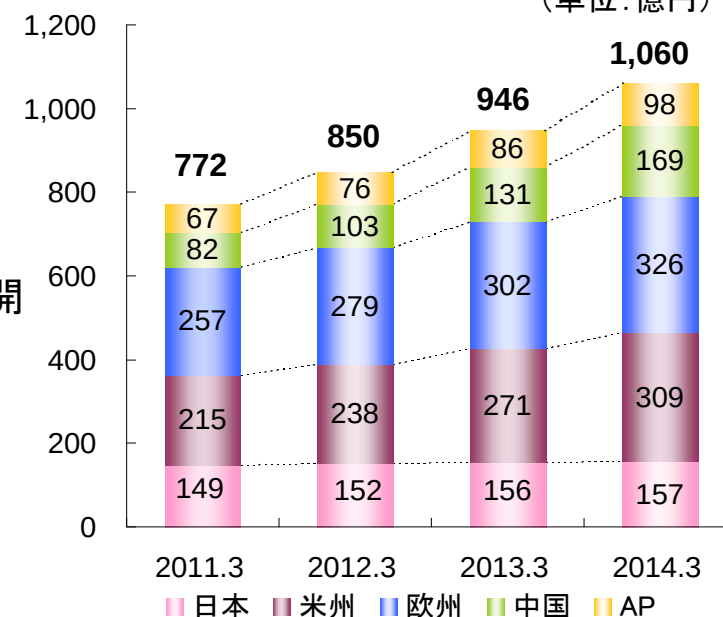
小型ヘマトロジー分析装置「XS-500i」

● 動物検査市場での事業拡大

- ▶ アイデックス社向け製品「ProCyte Dx」のグローバル展開

＜ヘマトロジー分野 地域別売上目標＞

(単位:億円)



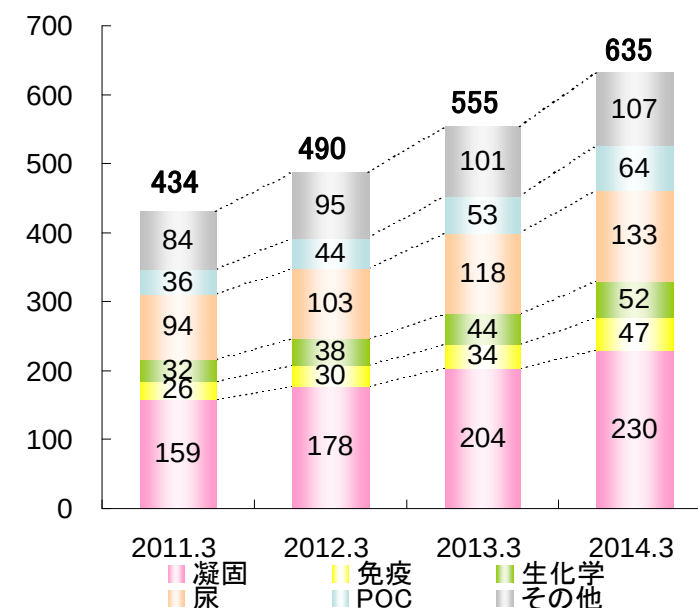
中期経営計画 重点課題と取り組み(3)



3. ノンヘマトロジー分野における成長の加速と次の成長に向けた基盤作り

- 凝固分野の新製品による他社攻略
- 尿定性、尿沈渣の統合システム「UX-2000」による検査効率化の推進
- 生化学分析装置の導入促進と試薬項目拡充
 - ▶ 日本電子:生化学自動分析装置 JCA-BM6010/C等
 - ▶ 古野電気:生化学自動分析装置 BXシリーズ
- 免疫分野における試薬項目と販売地域の拡大
 - ▶ 日本地域における試薬項目の拡大と総合提案の推進
 - ▶ 販売ネットワーク・顧客基盤等の強みを活かしたアジアでの免疫分野への早期参入
- ノンヘマトロジー診断薬の開発機能の強化
 - ▶ ノンヘマトロジー分野における診断薬開発の強化 (Hyphen BioMed買収)
 - ▶ カイコを用いた原材料開発・生産の強化 (片倉工業の生物科学研究所の譲受)

＜ノンヘマトロジー分野 分野別売上目標＞
(単位:億円)



中期経営計画 重点課題と取り組み(4)



4. ライフサイエンスにおける事業化の促進

● OSNAにおける地域拡大と適用がん種拡大

- ▶ OSNA(乳がん)の市場導入地域の拡大
- ▶ がん種拡大(大腸がん、胃がん、肺がん等)

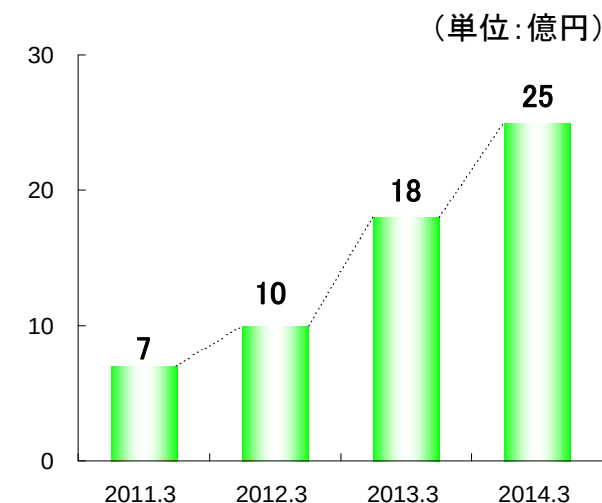
● OSNAビジネスとのシナジーの構築

- ▶ 術中迅速検査における関連商品のポートフォリオ拡充

● 自社技術(C2P※等)を用いたラボアッセイサービスの開始

- ▶ ラボアッセイモデルによるビジネスの早期確立

＜ライフサイエンス分野 売上目標＞



■ プロセスの相違(ラボアッセイモデル)

既存モデル

R&D

製造販売承認

保険適用

販売

ラボアッセイ
モデル
(受託検査)

R&D

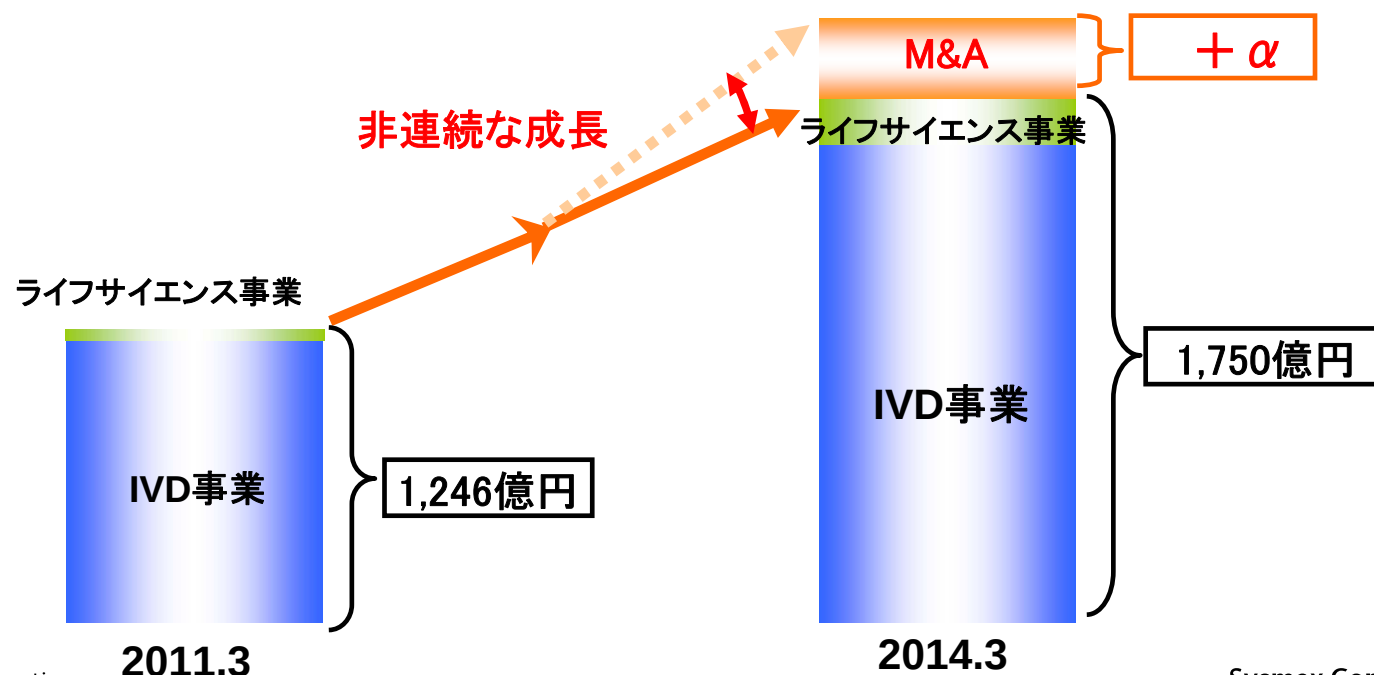
受託検査

※C2P(Cell Cycle Profiling): 細胞周期プロファイリングの略で、細胞周期に関連したタンパク質の活性・発現を解析し、がんの特徴をとらえる技術

5. M&Aやアライアンスの積極的な活用による事業ポートフォリオの強化と非連続な成長の実現

● M&Aやアライアンスを活用した非連続な成長の実現

- ▶ IVD事業、ライフサイエンス事業の拡大に貢献する新たな事業の探索



Chapter 4

2012年3月期 業績予想

連結 通期業績予想



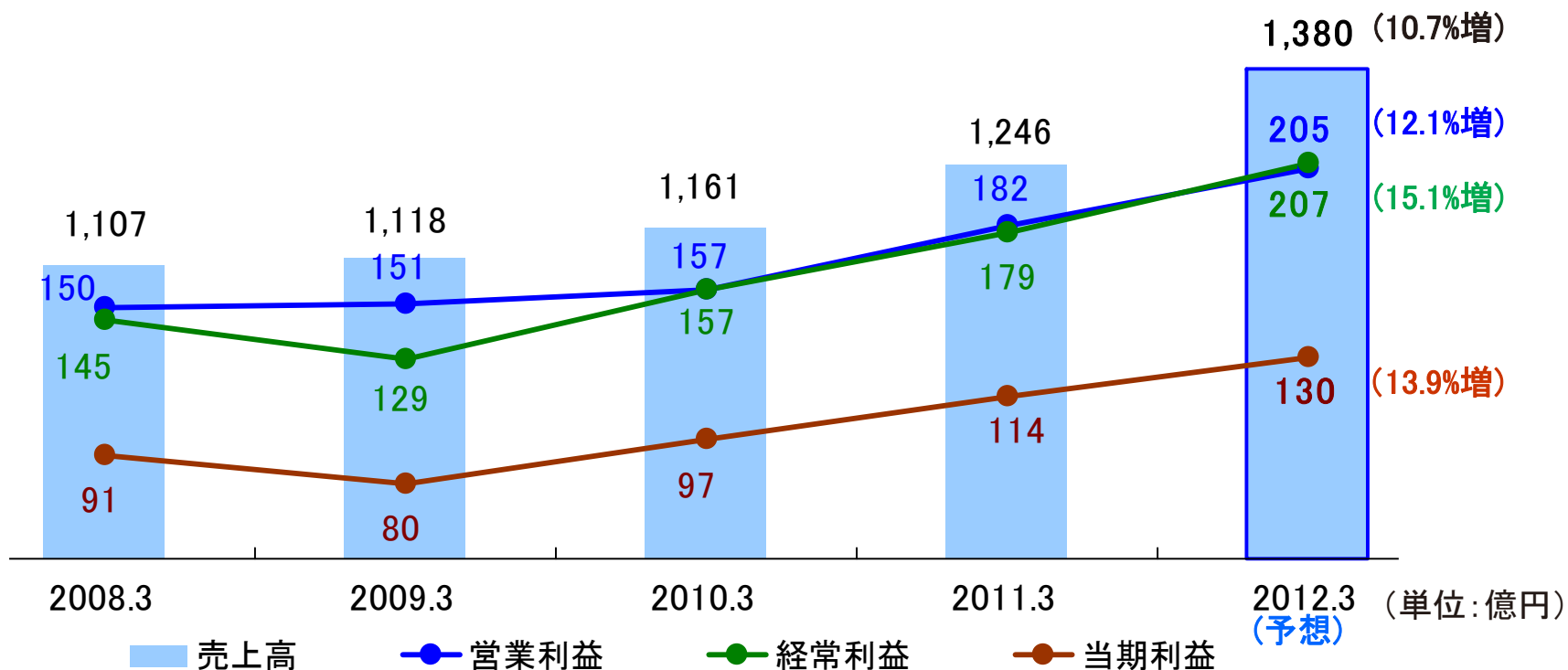
2012年3月期 連結業績予想

● 売上高：1,380 億円 ● 営業利益：205 億円 ● 経常利益：207 億円 ● 当期純利益：130 億円
 ● 営業利益率：14.9 % ● 経常利益率：15.0 % ● 当期純利益率：9.4 %

投資計画

● 設備投資：98 億円 ● 減価償却費：73 億円 ● 研究開発費：133 億円

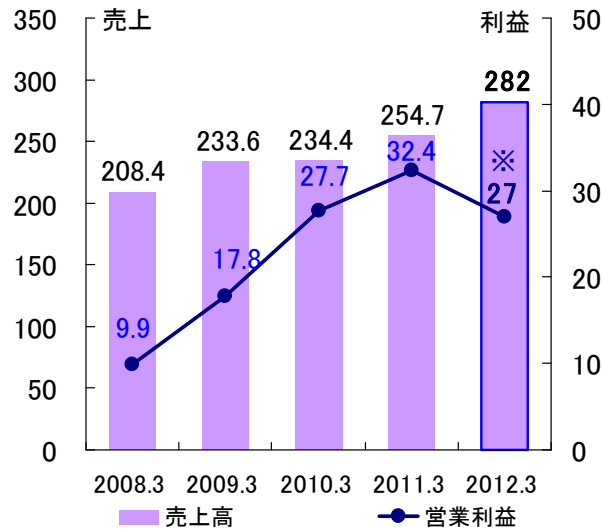
想定為替レート： 1USD = ¥85 1EUR = ¥115
 (2011年3月期実績： 1USD = ¥85.7 1EUR = ¥113.1)



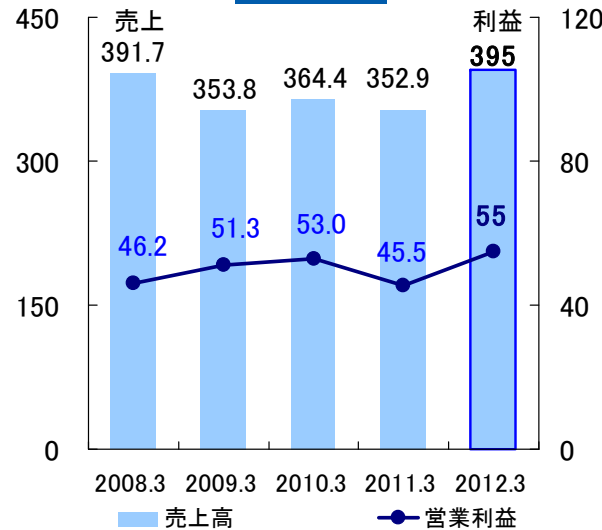
所在地別 通期業績予想



米州

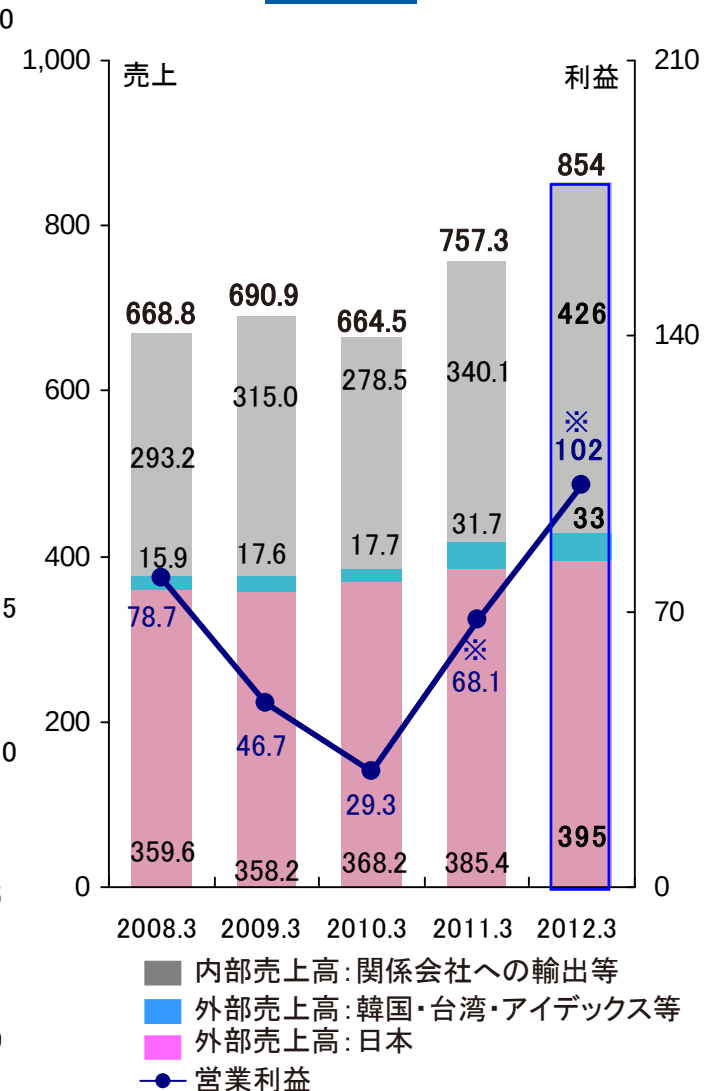


欧州

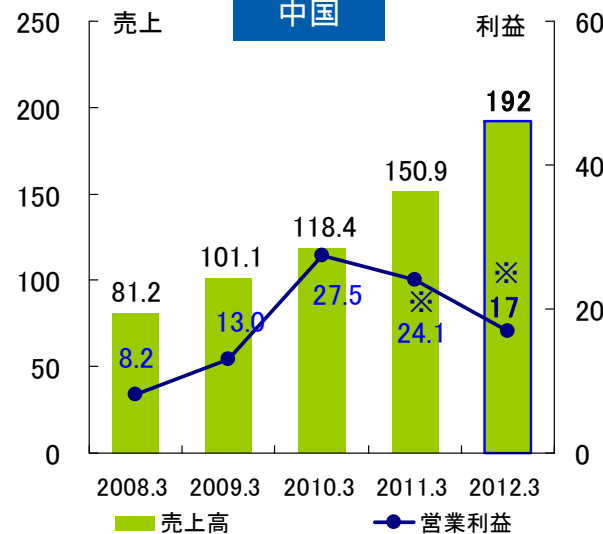


日本

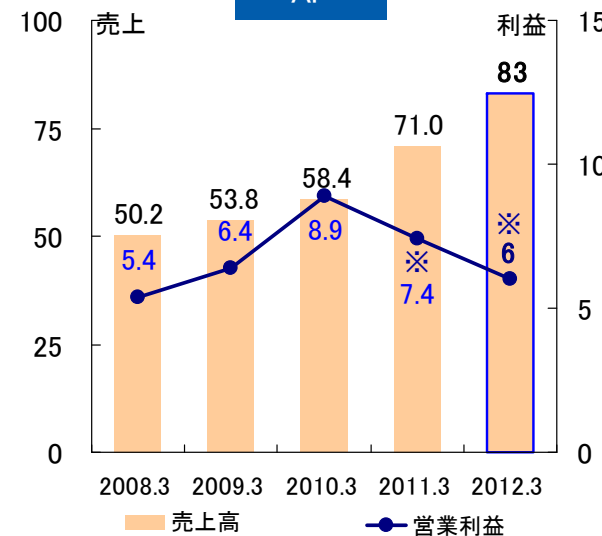
(単位: 億円)



中国



AP



Copyright by Sysmex Corporation

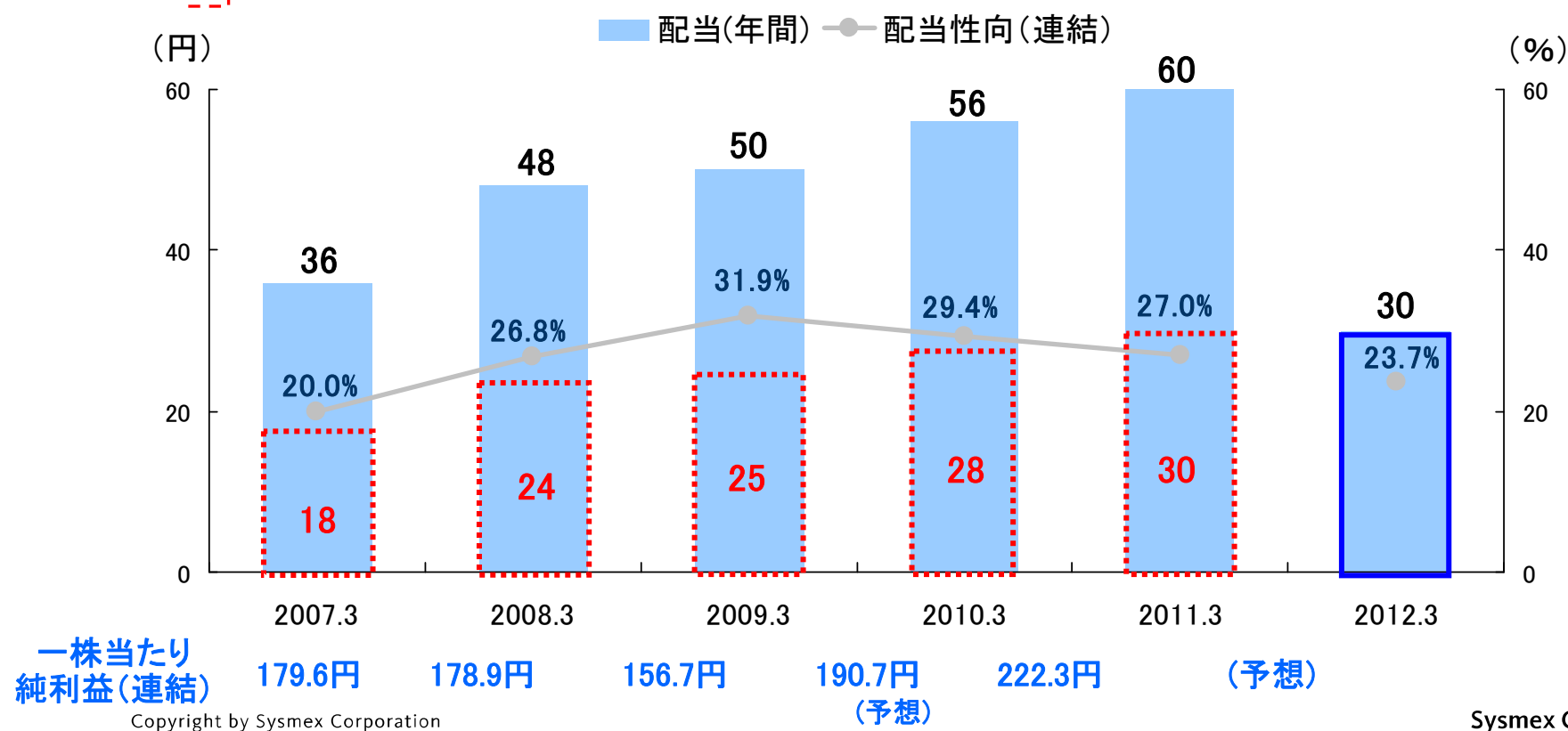
Sysmex Corporation

配当政策と配当予想

シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向20%を目処に配当を行ってまいります。

※2011年4月1日付け：株式分割(1:2)

株式分割後ベースに換算した場合の配当金



補足資料

中期経営目標

中期経営目標



(単位：億円)

● 連結損益計算書

		2012年3月期	2013年3月期		2014年3月期	
				前年比		前年比
	日本	395	410	103.8%	425	103.7%
	海外	985	1,140	115.7%	1,325	116.2%
売上高		1,380	1,550	112.3%	1,750	112.9%
営業利益		205	232	113.2%	265	114.2%
	営業利益率	14.9%	15.0%	－	15.1%	－
経常利益		207	233	112.6%	266	114.2%
当期純利益		130	146	112.3%	167	114.4%

● 所在地別売上高・営業利益

			2012年3月期	2013年3月期		2014年3月期	
					前年比		前年比
日本		外部売上高	428	444	103.7%	460	103.6%
		内部売上高	426	497	116.7%	585	117.7%
	売上高		854	941	110.2%	1,045	111.1%
	営業利益		102.0	113.5	111.3%	127.0	111.9%
		営業利益率	11.9%	12.1%	－	12.2%	－
米州	外部売上高		282	323	114.5%	371	114.9%
	営業利益		27.0	32.0	118.5%	37.0	115.6%
		営業利益率	9.6%	9.9%	－	10.0%	－
欧州	外部売上高		395	435	110.1%	479	110.1%
	営業利益		55.0	61.5	111.8%	68.0	110.6%
		営業利益率	13.8%	14.0%	－	14.1%	－
中国	外部売上高		192	248	129.2%	320	129.0%
	営業利益		17.0	23.5	138.2%	31.0	131.9%
		営業利益率	8.9%	9.5%	－	9.7%	－
AP	外部売上高		83	100	120.5%	120	120.0%
	営業利益		6.0	7.5	125.0%	10.0	133.3%
		営業利益率	7.1%	7.4%	－	8.2%	－

中期経営目標



(単位：億円)

● 事業別売上高

	2012年3月期	2013年3月期		2014年3月期	
			前年比		前年比
ヘマトロジー	850	946	111.4%	1,060	111.9%
凝固	178	204	114.4%	230	112.6%
免疫	30	34	113.0%	47	138.8%
生化学	38	44	116.4%	52	117.9%
尿	103	118	114.1%	133	112.8%
POC	44	53	119.4%	64	120.8%
その他	95	101	106.3%	107	106.8%
ノンヘマトロジー	490	555	113.3%	635	114.4%
ライフサイエンス	10	18	180.0%	25	138.9%
その他事業	30	30	100.0%	30	100.0%
合計	1,380	1,550	112.3%	1,750	112.9%

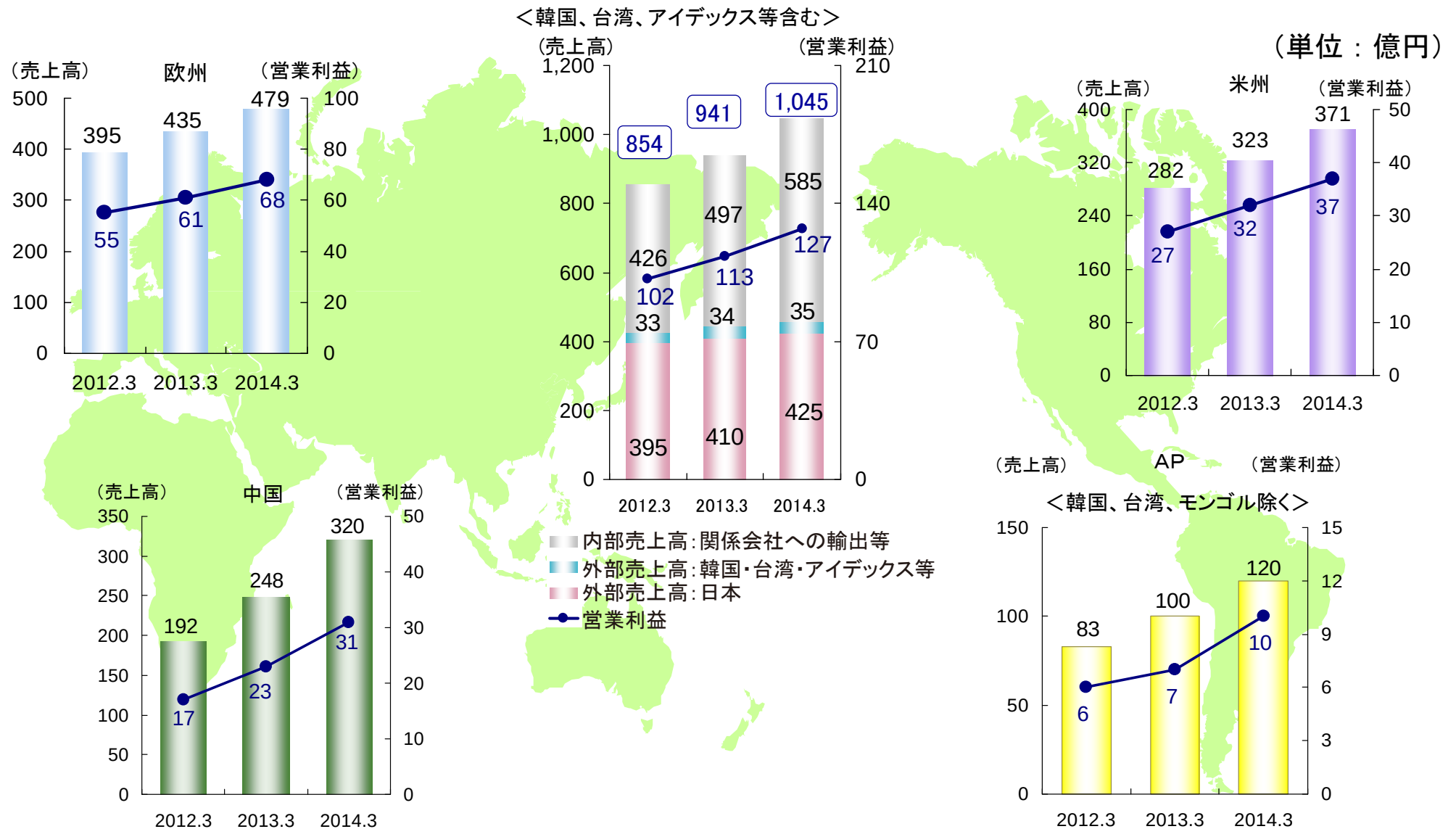
● 投資計画

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
設備投資	98	104	100
減価償却費	73	90	98
研究開発費	133	150	170

● 為替レート

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
1USD	85.0円		
1EUR	115.0円		

中期経営目標 ―所在地別売上高・営業利益―



We Believe the Possibilities.

シスメックス株式会社

＜お問合せ先＞

シスメックス株式会社 IR・広報部

・電話: 078-265-0500

・メールアドレス: info@sysmex.co.jp

・URL: www.sysmex.co.jp